

Music Dialogue presents

公開リハーサルシリーズ vol.1

今年は、ピアニスト園田高弘の没後10周年にあたります。旧園田邸において、メモリアルイベントのためのリハーサルが公開されることになりました。今回は園田氏ゆかりのピアニスト達が、 Brahms のピアノ五重奏曲を1楽章ごとに弾き繋ぎます。また生前の園田氏が信頼を寄せていた大山平一郎氏の呼びかけで、すばらしい弦の奏者も集います。戦後、いち早く世界の舞台へ飛び出し、76歳の生涯を閉じるまで、現役演奏者でありつづけた園田高弘へのオマージュを込めて、2日間にわたり熱いリハーサルが繰り広げられることでしょう。



photo: Sadamu Saito

日時 | 2014年10月4日(土) 13:30 ~ 18:00
10月5日(日) 10:30 ~ 14:30

曲目・出演 | ブラームス：ピアノ五重奏曲 へ短調 作品34

大崎結真、川井綾子、三木香代（ピアノ）、
水谷晃、千葉清加（ヴァイオリン）、大山平一郎（ヴィオラ）、金子鈴太郎（チェロ）

会場 | 伊藤邸（旧園田高弘邸／最寄り駅：自由が丘）

※旧園田高弘邸1955年竣工部分は、吉村順三設計の「自由が丘の家」として知られる名作住宅です。
※現在は個人邸であるため、お申込者にのみ地図をお送りいたします。

入場料 | 各日1000円（学生：各日500円）

※時間内は入退室自由 ※ソフトドリンク付き、当日精算
※歴史的建造物である旧園田邸の保存・維持費への寄付を含みます

申込 | <http://goo.gl/VXRhEP> 定員 | 各日50名

共催：一般社団法人 Music Dialogue、一般社団法人住宅遺産トラスト

「大山さんのような素晴らしい音楽家と一緒に音を作り上げる時間は、若手音楽家にとって何物にも代え難い非常に幸せなひとときです。音楽家は音で全てを表現するのが仕事ですから、ベテランの音楽家に実際に音を聴かせてもらえる、さらに一緒に弾いてもらえることは、何より勉強になります。勿論、言葉で受ける指導にも得るものは沢山あるのですが、実際に一緒に弾いていただけだと、言葉では伝わらないニュアンス、息づかい、そしてなによりも室内楽ではなくてはならない「芸術的團結力」を体感することができます。言葉ではうまく言い表せないこの瞬間は、素晴らしい演奏家と沢山の経験を積んだ、ベテランの音楽家からしか学べない、とても価値のあるものなのです。」（ピアニスト副島響子）



音楽を作り上げる現場に
あなたも立ち会ってみませんか？

出演者



水谷晃（ヴァイオリン）3歳よりヴァイオリニスト木村二郎氏に師事。第56回全日本学生音楽コンクール名古屋大会第一。桐朋学園大学を首席で卒業。その後、ヴァイオリンを小林健次氏、室内楽を原田幸一郎・毛利伯治の各氏と東京クラシックにて師事。在学中 Verus String Quartet を結成し、第57回ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門で第三位入賞。日本の弦楽四重奏団の入賞は東京クラシック以来、38年ぶりの快挙となった。現在、ワルタス・クラルテットのメンバー。2010年4月より群馬交響楽団コンサートマスターに就任。2013年4月より東京交響楽団コンサートマスター。

千葉清加（ヴァイオリン）東京藝術大学付属音楽学校を経て、東京藝術大学卒業。東京藝術大学内にて安宅賞受賞。第72回日本音楽コンクール第3位。第9回仙台国際音楽コンクール第5位。2013年 CHANEL Pygmalion Days アーティスト。これまでに、ミシャ・マイスキー、ユーリー・ペペュメト、など国内外の多くの著名な演奏家との共演を重ねており、ラ・フォル・ジュルネ（仏ナント）、「フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」、サイド・キネン・フェスティバル松本別府アルゲリッチ音楽祭などの音楽祭にも出演。2014年4月より、日本フィルハーモニー交響楽団のアシスタント・コンサートマスター。

大山平一郎（ヴィオラ）京都生まれ。英国のギルドホール音楽学校を卒業。米国イリノイ大学で修研。1979年にロサンゼルス交響楽団の首席ヴァイオラ奏者に任命された後、同楽団の副指揮者に任命される。カリフォルニア大学教授、ロハイア・サマー・フェスティバル、サイダーフェリー室内楽音楽祭、ながさき音楽祭の芸術監督、九州交響楽団の常任指揮者、大分交響楽団の音楽顧問、首席指揮者等を歴任。福岡市文化賞、文部科学大臣賞（芸術祭優秀賞）を受賞。現在、サンダーバーラ室内管弦楽団、音楽監督兼常任指揮者。CHANEL Pygmalion 室内楽シリーズ、アーティスティック・ディレクター、一般社団法人 Music Dialogue 代表。

金子鈴太郎（チェロ）桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て、ハンガリー国立音楽院に学ぶ。国内外の数々の国際コンクールで優勝、入賞。2004年松方ホール音楽賞大賞受賞。バロックから現代曲までの幅広いレパートリーを演奏し、これまでに日本やハンガリー、オーストリアにおいて数々の世界初演をおこなう。2001年ハンガリーで現代音楽のグループ“shyra”を結成。2003年～08年 大阪交響楽団特別首席チェロ奏者。現在は、各オーケストラリスト首席として招聘されるほか、サイトウ・キネン・オーケストラ、ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラ等で活躍中。トウキョウ・モーツルブルーヤーズ首席チェリスト、Super 3C、長岡京室內アンサンブル各メンバー。オフィシャルサイト <http://rintarokaneko.com/>



大崎結真（ピアノ）東京芸術大学附属高校卒業後、イモラ音楽院、パリ国立高等音楽院で学び、リーズ、ジュネーブなど主要国際ピアノコンクールで多数入賞を果たす。2010年、パリから日本に拠点を移し、同年、第37回日本ショパン協会賞」を受賞。国内のオーケストラとの共演の他、コンサートや音楽祭にも多く招かれ、「彼女の指は音を震わせ心を動かす」「ピアノが最高のレベルにまで高められた瞬間」など海外メディアで絶賛される。これまでにリリースした3枚のCDは何れも音楽専門誌で高い評価を得る。また演奏活動の他、音楽雑誌の執筆、ラジオ、TV等への出演など活動の場を広げている。

木番代（ピアノ）京都市立芸術大学卒業。第51回日本音楽コンクール第3位。第11回ショパン国際ピアノコンクールにて最優秀演奏賞を受賞。その後もエバート王妃国際音楽コンクール入賞、日本国際音楽コンクール日本人作品最優秀演奏賞、ウェーバー・カペル国際ピアノコンクールブション記念賞など、国際コンクールで数々の賞を受賞。また、第15回日本ショパン協会賞、姫路市芸術文化芸術賞にて受賞。美しい音による如痴如醉の演奏には定評があり、アンサンブルピアニストとしても多くの演奏家の信頼を得ている。現在国立音楽大学教授。

川井綾子（ピアノ）桐朋学園大学卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院を経て卒業。全日本学生音楽コンクール高校部全国一位、マリア・カナルス国際コンクール最高位とローレックス賞、エリザベト王妃コンクールなど入賞多数。新星日本、九州交響楽団、大阪セ・チリー、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共に演奏。横浜市招待国際ピアノ演奏会、NHK-FM、ショパン協会リサイタル出演や、「公共ホール活性化事業」、スタンウェイ・ジャパンの登録アーティストとして各地でコンサート、レッスンを行う。現在フェリス女学院大学、愛知県立芸術大学講師。

【お問い合わせ先】
一般社団法人 Music Dialogue
(<http://blog.canpan.info/music-dialogue/>)
080-1062-8304 info@artsbridge.co.jp

一般社団法人 住宅遺産トラスト
(<http://www.hhtrust.jp/>)
03-3721-1044 jytakuisan@gmail.com